

ふくい経済トピックス（学習費編）

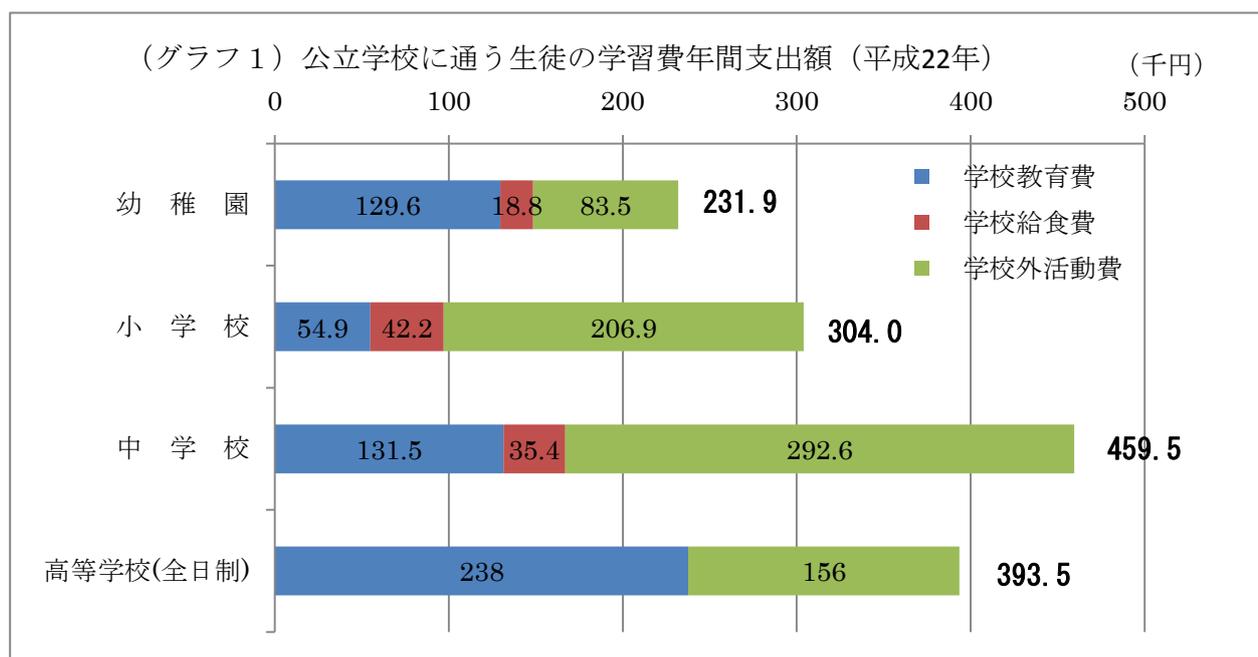
〈高校授業料無償化で月1万円減〉

大学の入学試験が始まり、3月には高校入試と、受験シーズン真ただ中にありますが、子を持つ親として関心が高いのは、教育費がいくらかかるのかという点ではないでしょうか。そこで、今回は、幼稚園から大学までの教育関係費用について紹介していきます。

平成22年の「子どもの学習費調査」（文部科学省）の結果から、公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校（全日制）の学校教育費、学校給食費、学校外活動費の年間支出額を表したのがグラフ1です。

この調査では、福井県だけの集計結果が出ていませんので、全国の数値を紹介させていただきます。

なお、「学校教育費」には、授業料、就学旅行費、PTA会費、図書・学用品・実習材料費、クラブ活動費、制服や通学費などが含まれ、「学校外活動費」には、家庭教師や学習塾の月謝、参考書や問題集代の「補助学習費」に加え、スポーツや習い事のための月謝や体験活動の参加費、教養のための図書費なども含まれています。



平成22年の幼稚園での年間学習費支出は231,920円、小学校では304,093円となっています。この10年間の推移をみると平成18年に向けて上昇し、その後若干下降傾向にありますが、これは近年の経済変動による家計収入の減少の影響を受けたものと考えられ、ここ数年は学校外活動費用が減少しています。

中学校では459,511円と、平成20年まで上昇してきたものが22年は補助学習費の減少によって若干減少しています。高校（全日制）では393,464円となり、高校授業料無償化によって、平成20年に比べると約12万円の減で、月に直すと1万円減少しています。

公立学校の学習費（年間支出額）（平成 22 年）

（単位：円）

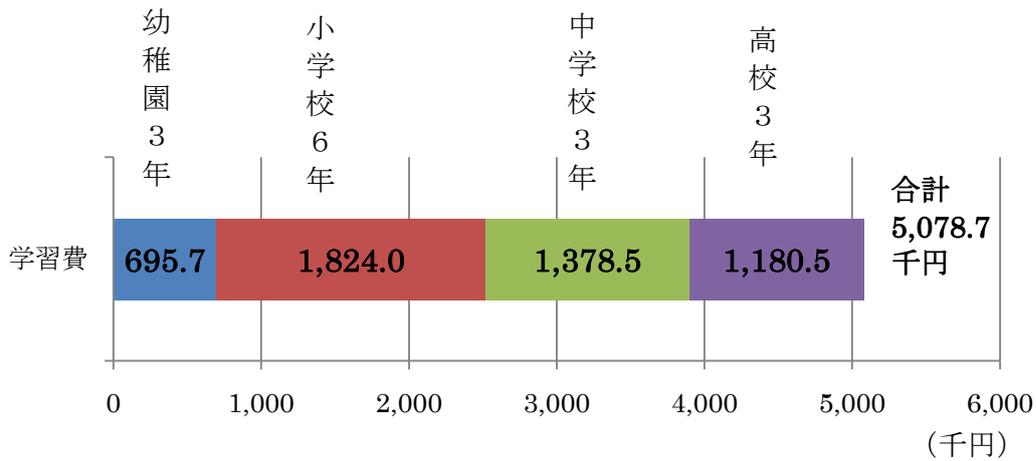
区 分	幼稚園	小学校	中学校	高校
学 習 費 総 額	231,920	304,093	459,511	393,464
学校教育費	129,581	54,929	131,501	237,669
授業料	73,043	…	…	—
修学旅行・遠足・見学費	2,673	6,593	24,797	32,324
学級・児童会・生徒会費	4,298	4,208	5,547	12,316
P T A 会費	4,285	2,966	3,724	8,130
その他の学校納付金	3,899	1,520	4,896	27,987
寄付金	149	78	487	344
教科書費・教科書以外の図書費	1,138	1,939	5,981	19,131
学用品・実験実習材料費	9,172	16,272	19,961	17,408
教科外活動費	763	2,593	27,717	41,570
通学費	5,606	1,346	7,795	43,198
制服	3,043	2,837	17,842	21,596
通学用品費	13,844	11,241	9,098	9,642
その他	7,668	3,336	3,656	4,023
学校給食費	18,834	42,227	35,448	…
学校外活動費	83,505	206,937	292,562	155,795
補助学習費	26,847	85,649	229,612	124,663
家庭内学習費	15,716	16,833	15,127	19,165
家庭教師費等	3,269	14,468	25,072	17,192
学習塾費	7,437	52,245	182,455	77,025
その他	425	2,103	6,958	11,281
その他の学校外活動費	56,658	121,288	62,950	31,132
体験活動・地域活動	1,523	4,684	2,437	2,444
芸術文化活動	17,000	34,343	27,103	12,208
ｽﾎﾟｰﾂ・レクリエーション活動	24,064	51,656	19,463	5,709
教養・その他	14,071	30,605	13,947	10,771
対象人口（人）	21,000	45,000	24,000	23,700

〈高校卒業までに 508 万円〉

平成 22 年の調査結果をもとに、幼稚園 3 年、小学校 6 年、中学校 3 年、高校 3 年の学習費の合計額を表したのがグラフ 2 で、15 年間で 508 万円かかることとなります。

これは公立学校を進んだ場合の合計ですので、私立学校の場合は授業料や学校関係費用などが更に必要になり、この調査結果では私立高校の場合、公立高校の 2.35 倍となっています。

(グラフ2) 公立学校に通った場合の学習費合計額 (平成22年)



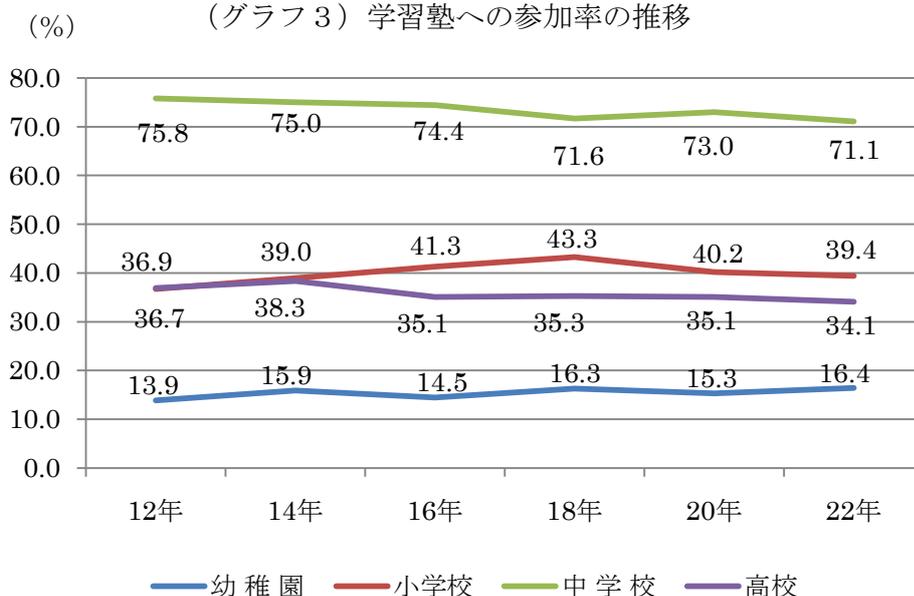
一方で、「学校外活動費」から福井県の塾や家庭教師等の教育市場をみると、幼稚園や保育園で17.5億円、小学校で93.1億円、中学校で70.2億円、高校で36.9億円と、全体で217.7億円のマーケットになっています。

〈学習塾は集中利用者増〉

学校外での学習費の中で、大きなウェイトを占めるのが、幼稚園では「スポーツクラブの月謝」ですが、小学校以上では「学習塾費」が最も高くなっています。そこで、「学習塾費」について詳しく見ていきます。

平成12年から22年にかけて、公立学校に通う児童、生徒の「学習塾」へ通う割合の推移を表したのがグラフ3、その平均支出額の推移を表したのがグラフ4です。

(グラフ3) 学習塾への参加率の推移

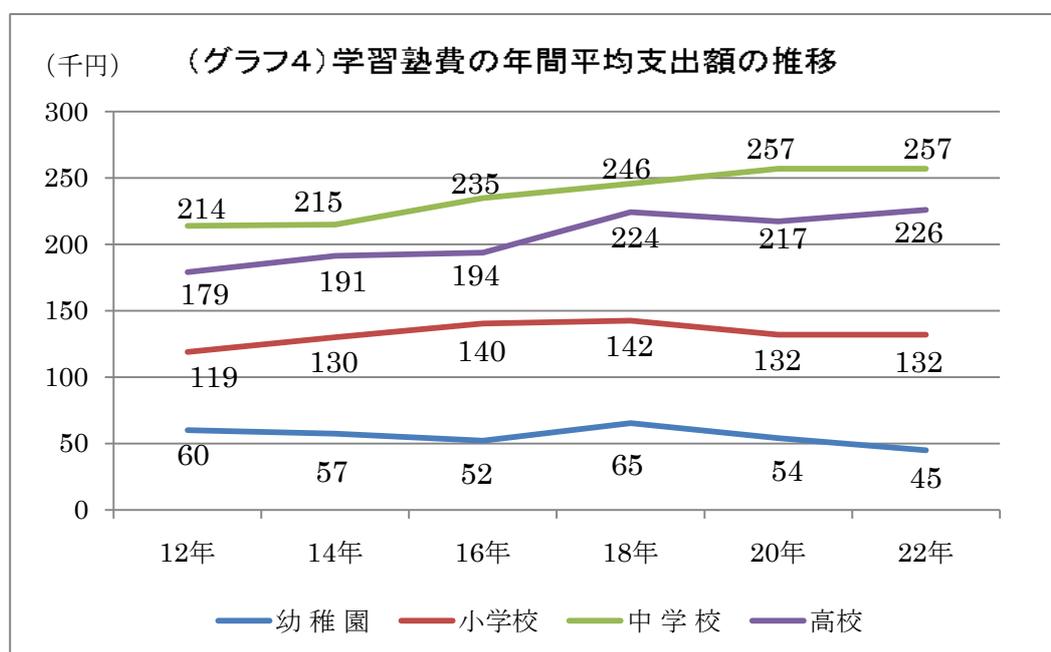


まず、学習塾への参加率をみると、幼稚園では 13.9%から 16.4%へと若干ですが増加傾向を示しています。小学校では 40%前後で推移し、中学校では 70%を超えています。一方、高校では、大学への進学率を反映して、中学校の約半分の 35%前後で推移しています。

ちなみに、家庭教師や通信教育などの参加率は、幼稚園や小学校では上昇傾向に、中学校や高校では低下傾向にあります。

また、平成 22 年の調査結果では、学習塾に通う人の平均的な年間支出額は、幼稚園で 45 千円、小学校で 132 千円、中学校で 257 千円、高校で 226 千円となり、幼稚園や小学校では横ばい傾向の中で、中学校と高校では増加しています。

調査対象の全体平均額では、減少傾向が表れていたことから考えると、学習塾のヘビーユーザーが増えているということかも知れません。



〈県外私立大の場合は 1 千万〉

さて、福井県の高校卒業者の大学等進学率は 54.9% (24 年 3 月) と半数を超えており、ここで大学での費用も参考に紹介したいと思います。

日本学生支援機構が実施する学生生活調査では、「自宅」と「寮、アパート」などの居住形態別に国立大学と私立大学の学費、生活費などの支出と仕送りやアルバイト、奨学金等の収入についてまとめています。

平成 22 年の調査結果の中で支出の平均額を表 1 に紹介しました。

自宅から国立大学に通う場合でも、4 年間で 434 万円、県外にアパート等を借りて私立大学に通う場合は 945 万円かかるという結果です。

幼稚園から大学まで子ども一人を教育しようとする、1,000~1,500 万円は必要ということになります。

しかし、子育ては、お金の換えられない楽しみがあるもので、貯蓄などでしっかりと準備をしていきたいものです。

(表1)居住形態別収入平均額及び学生生活費の内訳(大学学部生)

		自宅		下宿、アパート、その他	
		国立	私立	国立	私立
収入	家庭からの給付	623,400	1,058,200	1,186,200	1,724,600
	奨学金	242,300	386,500	372,200	471,400
	アルバイト	311,600	354,700	243,700	281,200
	定職収入・その他	42,500	52,600	47,200	56,300
	計	1,219,800	1,852,000	1,849,300	2,533,500
支出	授業料	502,900	949,800	511,900	1,013,500
	その他の学校納付金	10,700	179,000	6,100	193,200
	修学費	55,700	47,800	52,900	51,500
	課外活動費	43,100	37,600	49,200	40,000
	通学費	102,900	106,200	13,700	24,500
	小計(学費)	715,300	1,320,400	633,800	1,322,700
	食費	104,900	96,800	277,100	263,300
	住居・光熱費	…	…	511,700	478,200
	保健衛生費	39,500	40,800	38,600	40,100
	娯楽・嗜好費	132,100	133,200	145,900	149,100
	その他の日常費	93,800	101,500	102,700	109,800
	小計(生活費)	370,300	372,300	1,076,000	1,040,500
	計	1,085,600	1,692,700	1,709,800	2,363,200

〈福井商工会議所所報 平成25年2月号掲載〉